

2022年 8月 9日

キッコーマン株式会社 様、千葉県立農業大学校 様 産学連携による新たな価値創出への取組み

この度、千葉県立農業大学校様による「未利用資源の飼料的価値」をテーマにした研究を行うにあたり、キッコーマン食品株式会社 野田工場様が醤油の製造工程で発生する大豆の粉の提供をして頂けることになりました。

現状、製造工程でごく少量発生する大豆の粉は廃棄物として処分されており、キッコーマン株式会社様は、廃棄物や食品ロスの削減、再資源化率100%を目指す取組みを進めている状況の中で、当社の仲介により、この度の連携に至りました。

この取組みが有効となれば、食品ロス削減（産業廃棄物の削減）はもとより、焼却処分された場合に排出されるCO₂の削減、そして現在高騰している飼料に取って代わる物として、多くの畜産農家の助けにもなる事が期待でき、SDGsの達成にも貢献できると考えております。



【千葉県立農業大学校様（左）、キッコーマン株式会社様（右） お打合せの様子】